

第108号

# ひこね 市議会だより



## 平成20年度決算認定・平成21年度一般会計補正予算 可決 公の施設の指定管理者の指定（9件）可決 など



写真は、公有化が進む旧彦根藩  
松原下屋敷（お浜御殿）庭園

### 井伊直弼と開国150年祭

*Ii Naosuke - Gateway to the future*

11月臨時会・12月定例会の結果	…2~4
委員会の審査状況	…5
個人質問	…6~10
ほかにもこんなことを質問しました	…10
議会改革特別委員会中間報告	…11
決算特別委員会審査報告	…11
常任委員会視察報告	…12~13
議場コンサート開催	…14

### 11月臨時会・12月定例会のあらまし

去る11月24日に11月臨時会を開き、議案8件を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

12月定例会は、12月7日から24日までの18日間の会期で開催し、提出された議案審議のほか、個人からの質疑、一般質問を行いました。

今期定例会に提出された市長提出議案は30件で、いずれも原案のとおり可決・適当と認めました。また、議員提出議案は意見書案の2件であり、そのうち1件は原案のとおり可決、残り1件は否決しました。

9月定例会で継続審査となっていた平成20年度彦根市各会計歳入歳出決算については認定しました。請願2件については、1件は採択、残り1件は不採択としました。

## 11月臨時会

予算関係 = いずれも承認・可決

件名	概要
専決処分につき承認を求めることについて（平成21年度（2009年度）彦根市一般会計補正予算（第7号））＝承認	補正予算額：6,542万2千円 新型インフルエンザ予防接種費用の助成および費用助成にかかる事務経費の補正
平成21年度（2009年度）彦根市一般会計補正予算（第8号）＝可決	補正予算額：1億4,452万3千円（減額） 職員の給与改定および人事異動に伴う補正
平成21年度（2009年度）彦根市下水道事業特別会計補正予算（第1号）＝可決	補正予算額：1,839万3千円（減額） 職員の給与改定および人事異動に伴う補正
平成21年度（2009年度）彦根市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）＝可決	補正予算額：13万7千円（減額） 職員の給与改定および人事異動に伴う補正
平成21年度（2009年度）彦根市水道事業会計補正予算（第2号）＝可決	補正予算額…収益的支出：1,695万1千円（減額） 資本的支出：73万9千円（減額） 職員の給与改定および人事異動に伴う補正

条例関係 = いずれも可決

件名	概要
彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	国の特別職の期末手当の支給月数が引き下げられることに準じ、本市の特別職の常勤職員および教育委員会教育長の期末手当の支給月数を年間0.25月引き下げるもの（年間3.3月→3.05月）
彦根市教育委員会教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例案	
彦根市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	国家公務員の給与が改正されることに準じ、本市職員の給料表の改定、自宅に係る住居手当の廃止、期末・勤勉手当の支給月数を年間0.35月引き下げるもの（再任用以外の職員 年間4.5月→4.15月）

## 報告

件名
損害賠償の額の決定について（4件）

## 12月定例会

予算関係 = いずれも可決

件名	概要
平成21年度（2009年度）彦根市一般会計補正予算（第9号）	補正予算額：31億8,495万7千円 東中学校校舎等整備事業、高宮小学校校舎増築事業、市債元金償還金および利子償還金、障害福祉サービス等給付事業（扶助費）、小学校各所整備改修事業（太陽光発電整備）の増額補正、東中学校校舎等整備事業の債務負担行為補正・繰越明許費など
平成21年度（2009年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	補正予算額：175万9千円 高額医療・高額介護合算制度創設に伴う、高額介護合算療養費の補正
平成21年度（2009年度）彦根市住宅新築ならびに改修資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	補正予算額：733万8千円 公的資金補償金免除の繰上償還制度を利用し、高利の残債について繰上償還を行うための元金償還金の増額補正

## 12月定例会の結果

件名	概要
平成21年度（2009年度）彦根市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	補正予算額：10億3,379万1千円 国庫補助対象事業費の変更に伴う予算の組替えおよび公的資金補償金免除の繰上償還制度を利用し、高利の残債について低利債に借換えを行うための元金償還金の増額補正など
平成21年度（2009年度）彦根市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	補正予算額：112万円 高額医療・高額介護合算制度創設に伴う、高額医療合算介護サービス費の補正
平成21年度（2009年度）彦根市水道事業会計補正予算（第3号）	補正予算額…収益的支出：1,795万4千円 資本的支出：1,585万円 公共下水道関連仮設工事について公共下水道事業の施工範囲の変更等に伴う補正

条例関係 = いずれも可決

件名	概要
彦根市開発許可等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	都市計画法施行規則第60条の規定に基づく適合証明書の交付手数料（1件 4,000円）を新たに規定するもの
彦根市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案	船員保険法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの
彦根市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	国家公務員の退職手当の改正に準じた所要の改正等を行うもの
彦根市企業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部を改正する条例案	

決算関係 = 認定

件名	概要
平成20年度（2008年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	歳入決算額：613億5,357万9千円 歳出決算額：607億6,085万7千円 実質収支額：4億9,175万1千円

人事案件 = 適当と認める

件名	概要
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	馬場 世紀（ばば せいき）氏（高宮町）

指定管理者制度に関するもの = いずれも可決

件名	概要
彦根市男女共同参画センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：ウィズで集う会 指定期間：平成22年4月1日から平成26年3月31日まで
彦根市営中央駐車場、彦根市営南彦根駅前駐車場および彦根市営稲枝駅前駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：社団法人 彦根市シルバー人材センター 指定期間：平成22年4月1日から平成26年3月31日まで
彦根市営河瀬駅前西口駐車場、彦根駅前第1自転車駐車場、彦根駅前第2自転車駐車場、河瀬駅前東口自転車駐車場および河瀬駅前西口自転車駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：日駐管理株式会社 指定期間：平成22年4月1日から平成26年3月31日まで
高宮コミュニティセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：高宮学区連合自治会 指定期間：平成22年4月1日から平成26年3月31日まで
ひこね燦ばれすの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：財団法人 彦根勤労福祉会館 指定期間：平成22年4月1日から平成26年3月31日まで

## 12月定例会の結果

件 名	概 要
いろは松駐車場、二の丸駐車場、桜場駐車場、大手前駐車場、本町駐車場および松原水泳場駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：社団法人 彦根観光協会 指 定期間：平成22年4月1日から平成24年3月31日まで
彦根市俳遊館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：彦根ボランティアガイド協会 指 定期間：平成22年4月1日から平成26年3月31日まで
夢京橋あかり館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：株式会社 夢京橋 指 定期間：平成22年4月1日から平成26年3月31日まで
金亀公園および荒神山公園の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：高木・技研 特別共同体 指 定期間：平成22年4月1日から平成26年3月31日まで

### その他 = いずれも可決

件 名	概 要
住宅新築資金等貸付金の償還に係る権利の放棄につき議決を求めることについて	住宅新築資金等貸付金の償還に係る権利を放棄することについて、地方自治法第96条第1項第10号の規定により、議会の議決を求めるもの
滋賀県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少および規約の変更につき議決を求めることについて	平成22年1月1日付けで長浜市に虎姫町、湖北町、高月町、木之本町、余呉町および西浅井町が合併されることに伴い、組合・センターを組織する地方公共団体の数を減少し、議員定数を見直し、規約を変更するもの
滋賀県市町村職員研修センターを組織する地方公共団体の数の減少および規約の変更につき議決を求めることについて	
滋賀県市町村交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減少および規約の変更につき議決を求めることについて	
彦根犬上広域行政組合を組織する地方公共団体の数の増加および共同処理する事務の変更ならびに規約の変更につき議決を求めることについて	新しいごみ処理施設整備に係る事務の移管、愛荘町の加入に伴い、組合を組織する地方公共団体の数を増加し、共同処理する事務を変更するなど、規約を変更するもの
財産の取得につき議決を求めることについて	旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園の主要部分の土地2筆（合計10,969.47㎡）を公有化するもの 契約金額：4億8,265万6,680円  市内小・中学校における教員の校務用コンピュータおよび児童・生徒の教育用コンピュータならびにその周辺機器を購入するもの <b>【購入費】</b> 城東・城西・城南・平田・城北小学校分 5,442万1,500円 佐和山・旭森・金城・鳥居本小学校分 5,170万2,000円 城陽・若葉・河瀬・亀山・稲枝東・稲枝西・稲枝北小学校分 6,088万8,450円 東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝中学校分 5,879万2,650円

### 報告

件 名
損害賠償の額の決定について（2件）
財団法人彦根市文化体育振興事業団の解散に伴う清算結了について

### 議員提出議案（意見書案） = 可決、否決

件 名	結果
農業振興のための基盤強化体制づくりを求める意見書案	= 可決
日米FTA（自由貿易協定）締結交渉に関する意見書案	= 否決

### 請願 = 採択、不採択

件 名	結果
EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願	= 採択
米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願	= 不採択

市民文教常任委員会 (12月18日開催)

審査

指定管理者の指定に係る議決案件1件、規約変更等に係る議決案件2件、財産の取得に係る議決案件5件の合計8議案

主な質疑

・男女共同参画センターの指定管理業務の提案に対する選定基準の客観性、選定最低ラインの妥当性  
 ・広域行政組合規約変更での最終処分場と新しいごみ処理施設の分け方、議員の審議権、議員定数の根拠、愛荘町の加入による火葬場使用料の減免の

有無、新しいごみ処理施設建設の現状

・旧彦根藩松原下屋敷お浜御殿(庭園)の公有地化のスケジュール取得単価の妥当性

主な質疑

・小・中学校の校務用・教育用コンピュータ等の購入に係る単価、サーバの対応状況、OSの種類および選定の考え方、ソフトウェアの検討状況、購入後の更新計画、契約業者の状況、コンピュータ導入後の研修計画・成果報告 など

採決結果

すべて原案のとおり可決

総務常任委員会 (11月24日・12月21日開催)

審査

(11月24日) 条例改正3議案  
 (12月21日) 条例改正2件、規約変更等に係る議決案件2件の合計4議案

主な質疑

(11月24日) 自宅に係る住居手当廃

止の考え方、対象者数

・給料表の改定は、人事院勧告どおりか  
 ・若年層、非若年層の調整について など

採決結果

(11月24日) すべて原案のとおり可決  
 (12月21日) すべて原案のとおり可決

予算特別委員会 (11月24日・12月17日開催)

審査

(11月24日) 補正予算5議案  
 (12月17日) 補正予算6議案

主な質疑

(11月24日) 新型インフルエンザワクチン接種助成の取組遅延理由、助成対象拡大の考え  
 (12月17日) 歳入における安全安心

な学校づくり交付金と地域活性化・公共投資臨時交付金の分け方

・緊急雇用創出事業の枠配分等による精査での事業への影響、減額の内容  
 太陽光発電設備の設置場所および1校当たりの費用

・高宮小学校の既存部分の内装工事の有無  
 ・東中学校校舎等整備事業の今回計上分約15億円

採決結果

(11月24日) すべて原案のとおり承認・可決  
 (12月17日) すべて原案のとおり可決

の内訳

・鳥居本中学校グラウンド整備事業の内容  
 ・地方債と一般財源の関係

産業建設常任委員会 (12月21日開催)

審査

条例改正2件、指定管理者の指定に係る議決案件8件等の合計11議案および請願2件

主な質疑

・指定管理者の指定に関し、選定基準にある「市民の平等な利用の確保」でのぬくもりのあるサービス・利便性の向上および「施設の効用の最大限の発揮」での案内板の整備・環境への取組の内容

公園の遊具等の補修に係る役割分担、指定管理者となる団体が前回と変わったもの、応募が少ない

分析、応募者の状況、指定管理料基準額と提案額との差異、利用料金制度導入の有無および考え方

指定管理料が前回に比べ増減している理由、市営駐車場の料金設定の考え方、指定業務の提案内容に対する実際の評価と活用方

法

・権利放棄に関し、残された資産からの債権回収・新たな保証人の設定の考え方 など

採決結果

議案は、すべて原案のとおり可決。  
 請願は、EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願は採択、米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願は不採択。



「赤ちゃんの駅」設置事業は

**答** 公共施設25箇所に整備しているが、利用できる施設の一覧表の作成や

**問** 「赤ちゃんの駅」は、外出中に気軽に立ち寄ることができるスペースが確保されている公共施設。子育て中の親が、外出しやすい環境を整えるとともに、育児ストレスや子育て家庭の孤立を軽減する「赤ちゃんの駅」を設置する考えは。

徳永ひで子



施設のシールや看板等による表示はしていないため、今後はオムツ交換や授乳場所、ベビーカー等の設置状況、各施設における管理状況、利用時間等の調査を行い、利用しやすい環境整備に向けて検討していく。

**A** 利用しやすい環境整備に取り組む



民生委員・児童委員の増員計画は

**問** 高齢者や独居老人、子どもへの虐待等社会弱者が増す中で、地域福祉に携わる民生委員児童委員の役割は重要であるが、



西川 正義

地域により世帯数が増加しており、見守りや援助、情報提供等広範囲の業務を担う委員への負担は重くなるばかりであり、増員すべきと考えるが当局の見解を問う。

**答** 来年は、委員の一次改選を迎えることから、県に対し委嘱数の見直しを要望するが、委員の配置に当たっては、本市の民児協連合会で検討委員会を設置願ひ、担当世帯数のバラツキや地域の高齢化率、地理的条件等を検討し、協議・調整頂く。

**A** 民児協の検討委員会で協議調整予定



正規職員で安心安全な保育所を

少ないからだ。

**問** 安心安全な保育所運営に必要な正規職員が彦根市では非常に少ない。原因はなぜか。

成宮 祐二



**答** 入所児童数により職員の必要数が毎年変動する上、延長保育などのサービスが多様化しており、正規保育士だけでは対応できない状況にある。

**問** 非正規職員が3分の2以上というのも異常すぎる。問題は、運営費が

**A** サービス多様化で臨時者も必要



発達障害児への教育と福祉の連携は



有馬 裕次

**問** 放課後児童クラブの発達障害児の受け入れは万全の配慮を心掛けているか。

**答** 申し出により受け入れており待機児童はない。

**問** 今後増える発達障害児への定員制限はあるか。

**答** 定員数は部屋の広さで定めており、障害児数を制限するものではない。

**問** 学校現場での発達障害児に対する連絡・連携が不十分ではないか。

**答** 情報収集ができていない状況もあり、学校および保護者との情報交換を行うよう指導し、校長へは実情に応じた連携を図るよう要請している。

**問** 発達障害者手帳を必要とする声への対応は、現在、聞いていない。

**A** 放課後児童クラブ指導員は研修会に



彦根市立東中学校

**問** 東中の改築は耐震補強から前政権の緊急経済対策を受け、市長が全面改築に英断、その近代的校舎等施設概要を問う。

田島 茂洋

小川喜二郎

**問** 県は彦根市への移管として協議内容は、  
**答** これまで県による運営を引き続き要望してきた。現時点では県の話を聞く状況であり、協議が始まったばかりである。  
**問** 移管に対しての条件となる点は、  
**答** 万一、移管を受ける場合、条件の協議が必要となる。その内容により決断する。止めるか受けるか。万一、受けても市

**Q** 東中学校の全面改築の概要を問う

**A** 公共投資臨時交付金での大改築

**答** 校舎は、普通教室30、特別支援学級用の教室4をはじめ、特別教室として理科室3、音楽室2、美術・技術・家庭科室各2、コンピュータ室、図書室、少人数教室3、学年ごとの多目的スペース等々。会議室大小各1、生徒会室、教育相談室4、校長室、職員室、保健室等管理諸室、エレベーター等バリアフリー完備の一部4階の3階建て。バスケット付運動場、2階に卓球場の体育館、屋上にプールの柔剣道場等

**Q** 県立荒神山少年自然の家は

**A** 県の移管への条件により判断する



荒神山少年自然の家

立の施設となり、受入体制も重要になる。指定管理のこと、受益者負担の考え方、経営をどうするかにも関わる。県の条件を聞いて判断をする。万一、受けるとなれば、次の段階の話である。

**問** 荒神山周辺へのイノシシ被害地域が年々広がり、生産農家は対策に苦慮されている。今年の捕獲計画20頭を大幅に超え



山田多津子

細江 正人

**問** 彦根市が管理するJR各駅前自転車駐輪場の利用料は同一だが、税金で賄う管理経費の額に大きな差異があり、改善すべき点として事務事業評価においても指摘されているが方針を問う。  
**答** 管理経費の実績は、自転車1か月定期が彦根駅前1233円、河瀬駅前では4840円掛かっている。河瀬駅前3箇所の指定管理料は年間

**Q** 荒神山周辺へのイノシシ対策強化を

**A** 捕獲檻増設と研修会実施で対策する

**答** 荒神山のイノシシ生息数は増加してきていると認識している。捕獲檻の設置は今年度9基から10基に増設し、来年度は更に2基増設を検討している。また、イノシシの生態系を知ってもらうために地元住民への研修会を実施していきたい。

**Q** 駅前市営駐輪場の効率的運営委託を

**A** 管理時間や管理方法の見直しも検討

1980万5千円で約700万円近い赤字。一方、南彦根駅など(財)自転車駐車場整備センターに施設の建設から管理運営まで全面委託の例もある。収支の逆転については今後解消していきたい。



河瀬駅前東口自転車駐車場



### 未整備地区下水道事業と 浸水対策は

**問** 排水側溝等の悪臭や道路補修は、下水道整備により大部分が解消されると思うが、高宮学区未整備地区の下水道事業計画は。



高宮 新川

大橋 和夫

**答** 犬上川以北の住宅密集地は、流域下水道幹線の進捗に併せ重点的に取り組み、5年から6年を目途に整備を進める。  
**問** 高宮新川の進捗状況と完成年度は。  
**答** 第1雨水幹線は、平成21年3月末現在で全体計画延長558mのうち148mが完成。現在、用地買収を進めており、工事は新年早々より着手する予定で、この工事が完了すると進捗率は38%となる。完成年度は平成25年度を目標。

**A** 未整備地区は早期整備に努めたい



### 公共下水道の 普及率向上を求める

**問** 市内普及率は、約74%であるが、旭森学区と高宮学区の普及率は。  
**答** 国道8号線の下に建設中の流域下水道第2幹線の整備の関係から、旭森学区約49%、高宮学区約46%という状況である。  
**問** 普及率の低い2学区の優先順位の考え方は。  
**答** 第2幹線の進捗に併せて重点的に進めたいが、財政状況や市全体の均衡にも配慮し整備する。

八木 嘉之



**問** 事業の積極的な情報公開を行う必要があるが。  
**答** ホームページや広報ひこねなどで情報公開に努めている。また、自治会単位や連合会での説明会を開催し、きめ細かに情報を提供している。

**A** 財政状況や市全体の均衡に配慮する



### 自治体の農業支援の 在り方を考える



遊休農地での牛放牧

**問** 農業基盤の強化は国政の急務事項。地方分権化進行の中、自治体も国政依存でなく独自農政に取り組む時代。例えば農機リース化、バイオ肥料

夏川 嘉一郎

化、改良区支援等。また、中山間地振興策として不耕地への牛放牧、振興策発信拠点としてのセンター設置、大学の知識活用策等、やるべき手法多し、市の取組姿勢を問う。  
**答** 多大な経費の必要性や効果等から困難。ただし、リース化はJA打診、牛放牧は集落希望でテスト支援考慮。大学とは協力に関する基本協定書締結済み。中山間地農業活性化は地元意向を踏まえつつ大学等との連携を進めていく。

**A** 農業活性化は諸状況勘案の中で実施



### 南彦根駅近く福満公園の 無断駐輪は

**問** 駅前等にモラルの無い違法駐輪が見受けられるが、撤去する日を増やしてはいいかがか。  
**答** 撤去の大部分を担当課が行っており、現状では回数を増やすのは困難であるが、次年度から駅前市営駐車場および自転車駐車の指定管理者が一日3回の巡回を実施する予定。  
**問** 南彦根駅近くの福満公園は禁止区域でないこ

赤井 康彦



福満公園の状況

とから無断駐輪が多く、条例等の整備や対応が必要であるがいかかがか。  
**答** 公園出入口に恒久的な施設の設置を新年度に検討しており、自転車駐車の移設や新たな条例の必要性も含めて考えていく。

**A** 出入口に恒久的な施設の設置を検討

辻 真理子



形成協定調印式の様子

**問** 事業仕分けの影響は、結果が来年度予算に反映されるかは不透明。今後、国の予算編成の状況を見ながら適宜対応。具体的着手目前の定

馬場 和子

**問** 「安心の救急カード」があれば救急搬送にどのような効果があるのか。  
**答** 千鳥ヶ丘自治会の取り組まれている安心の救急カードにつきましては、救急隊が現場到着時に、傷病者の観察、応急処置などに併せて傷病者本人に関する情報が容易に確認できることで、救急活動の迅速化に繋がるものと考えられる。特に本人の既往症に関する情報



事業仕分けの影響と今後の手立ては



予算編成状況を見ながら対応する

**問** 中央への働きかけは必要に応じて行う。  
**答** 住自立圏構想は大丈夫か。新政府も推進の方向。年次的に取組の進む歴史まちづくり法の推進に支障はないのか。  
**答** 今後の仕分けは不透明であり、国の動向注視。  
**問** 前政府の公共投資臨時交付金を受けての東中学校改築事業の費用は全額担保されるのか。  
**答** 平成21年度中に事業化し翌年度に繰り越した事業が対象で、概ね交付の見込み。



安心の救急カードは命を繋ぐリレー



救急活動の迅速化に繋がると考える

については、救急処置を行うにおいて大変有効であると考え。

▶安心の救急カード



田中 滋康

**問** 東中・高宮小・佐和山幼増改築、鳥中グラウンド整備、稻枝中耐震補強、稻枝東小体育館耐震工事と文教関係予算が計



松本 忠男

**問** 市税の歳入見込みは、雇情勢は一段と厳しさを増し、デフレ状況の経済であることから、企業収益、個人収入とも減少している。法人市民税、個人市民税もかなりの減収と見込んでいます。市税全体として約10億円の減収となる見込み。  
**問** 歳入不足の補充は、財政調整基金および減債基金は今年度末では底をつき、歳入不足を



来年度予算編成は大丈夫か？



投資的経費を見直し、歳出の削減を

基金で補うことはできない。従って、歳入不足を補うためには、実施するものと我慢するものの区分をしっかりと行い、投資的経費を見直し、歳出の削減を図る。



地元業者の仕事確保に配慮を



仕様書に地元業者活用記載し入札を

上された。市内業者が、これらを受注、仕事確保ができるような地域要件の設定などの配慮ある入札取組を求めたい。  
**答** 東中の建築工事は、地方業者を含む特定建設工事共同企業体により、その他の工事は、単体方式で地元業者の受注機会に配慮した条件付一般競争入札を執行する。雇用確保や地域経済の発展を図るため、仕様書等に地元業者を使う記載など、地元中小企業に配慮した入札を実施する。

指定管理者の審査・選定は公開で



山口 大助

問 指定管理者候補者選定委員会での審査・選定については、公開されていないが、今後公開すべきと思うかどうか、考えを問う。

答 指定管理者候補者選定委員会は、本市の指定管理者制度の導入・運用指針に基づき、委員が審査に集中できるように、会議の公開をしていないが、審査・選定の透明性・公正性をより高める手法に



については、他市の事例も参考にしながら検討を進めて行きたいと考えている。



透明性・公正性を高める手法を検討

久木正勝議員逝去される



久木正勝議員（72歳）が、去る11月18日に逝去されました。

久木議員は、平成11年4月に市議会議員に初当選し、その後、3

期10年の長きにわたり、各種委員会の委員長、副委員長等の要職を歴任されました。また、平成19年5月から1年間、彦根市の監査委員として、本市の公正で合理的、効率的な行政運営の推進に貢献いただきました。

生前のご尽力に対し、深く敬意を表しますとともに、謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

ほかにもこんなことを質問しました

11月臨時会（質疑）

議案第90号専決処分につき承認を求めることについて（平成21年度（2009年度）彦根市一般会計補正予算（第7号））、議案第95号彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案、議案第96号彦根市教育委員会教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例案、議案第97号彦根市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案について

12月定例会（質疑・一般質問）

新型インフルエンザについて  
行政の障害者への取組  
発達障害への対応について  
世界遺産登録を視野に入れて  
議案121号彦根犬上広域行政組合を組織する地方公共団体の数の増加および共同処理する事務の変更ならびに規約の変更につき議決を求めることについてへの質疑  
財団法人彦根市事業公社の公益法人改革への対応について  
教育行政と福祉分野について  
県立荒神山少年自然の家について  
どうする、どうなる彦根のごみ問題

「彦根へおいでよ」の取組について

メタボ健診について  
教育環境の整備充実を  
薬物汚染から若者を守るために  
食育について考える  
県の事業見直しに関する彦根市の対応について  
各校の太陽光発電について  
県事業と彦根市の関わりについて  
彦根総合地方卸売市場に期待をする  
失業者支援対策について  
生活道路の整備について  
神上沼公園の環境整備及び全域銃猟禁止指定について  
ふれあい広場駐車場への進入路の整備について  
議案108号～116号の指定管理者の指定について質疑  
雇用の確保に全力を尽くそう  
小規模工事等契約希望者登録制度導入への考えは市の外部団体に派遣した職員の人件費補助は適法か  
政権交代による本市への影響について  
湖東定住自立圏構想の推進について  
彦根市まちづくり基本条例について  
定住自立圏構想の基本目標を考える

議会改革特別委員会（9月30日開催）中間報告

予算特別委員会のあり方について

〔発〕 予算と決算を連動させ、委員数を議員の半数あるいは決算と同じ10人程度にしようか。

〔発〕 理事者の入れ替えや場所の問題はあるが、議員全員で審査する意味は大きいのではないが。 など  
・ 全議員を委員とする委員会での当初予算審査は1回しか実施していないことから、慎重に判断すべきとの意見もあり、次回の委員会で結論を出す。

継続8項目（少子化対策特別委員会の設置、政治倫理の確立と条例制定、議会運営委員会の定数制、営林組合議会の議員定数の削減、市立病院医療対策特別委員会の設置、反問権、常任委員会の所管と委員定数、議会のインターネット中継）の扱いについて

新たな課題（交渉会派の要件の見直し、正副議長選挙における立候補制、会議における録音、委員会の予鈴導入）の扱いについて

・ 少子化対策・市立病院医療対策特別委員会の設置は、かなり広範囲の対象となることや時期を逸しているとの観点から、今期は具体的

的な協議は行わない。

・ 営林組合議会の議員定数の削減は本市のみで決めかねることも過去に営林組合議会で協議された経緯もあり、協議項目から外す。

・ 議会基本条例に政治倫理の確立、反問権、正副議長選挙における立候補制を含め、別に議会運営委員会の定数制、常任委員会の所管と委員定数、交渉会派の要件の見直しを協議していく。

・ 会議における録音、委員会の予鈴導入は議会運営委員会に委ねる。

議会開放推進プロジェクトチームの位置づけについて

〔発〕 議場コンサートや子ども議会にいられた多くの方々からは、議場を身近に感じられたとの声も聞かれます。さらに議会の傍聴等につなげる取組とするため、議会として正式な位置づけをすべき。 など

・ プロジェクトチームや各会派での議論を吸い上げ、本委員会で決定することも一つであり、次回の委員会で再度協議する。

先進都市視察について

・ 今後の議論の中心となる議会基本条例や政治倫理条例に係る取組の先進地を視察する。

決算特別委員会（10月26・27日開催）審査報告

審査 平成20年度彦根市各会計歳入歳出決算について

主な質疑

【一般会計歳入】

・ 各分野にわたる収入未済への対応

・ 市税徴収で現年度にシフトした効果や集中月間の徴収実績の分析

・ 日曜納税相談や納付誓約書提出後の経過、差し押さえの執行状況、追跡調査による滞納者の現状把握、経営戦略会議での取組

・ 城内駐車場使用料や博物館観覧料で来彦者が多いにも関わらず収入が少ないことへの分析 など

【一般会計歳出】

・ 指定管理者制度の運用実態と市民サービスの直営時との比較

・ 議会費での交際費の使い方、負担金補助に対する効果

・ 総務費でのひこねっと構築委託料等の内容、育児休業代替職員が雇用できなかったことによる業務への支障の有無、ひこねっ活動基金の使途、井伊直弼と開国150年祭による観光客誘致効果

・ 民生費での社会福祉費関連積立金の使途、児童手当支給事業での人材確保ができなかったことでのサービス提供への支障の有無

・ 衛生費での産科医療施設整備費補助金の支出効果と彦根市立病院

での産科医療再開との関係、旧港湾清掃事業委託の適切性

・ 農林水産業費での有害鳥獣駆除委託と有害鳥獣駆除対策事業補助との違い、琵琶湖森林づくり事業の増額と森林づくりの力点

・ 商工費での企業誘致への力の入れ方、工場等設置奨励金の支出内容と雇用との関係

・ 土木費での乗合タクシー運行事業の試行内容の分析

・ 消防費でのはしご車購入後の活用状況、備品等購入に係る入札状況

・ 教育費での家庭・地域とともに進める開かれた学校教育委託料の対象と内容、語学指導外国青年招致事業の効果・不用額発生原因 など

【特別会計】

・ 国民健康保険料等における未収金の回収努力と効果、今後の取組

・ 下水道事業での市債の償還に係る今後の推移

・ 休日急病診療所事業での委託業務の内容・考え方

・ 介護保険事業での介護予防住宅改修費の件数と内容 など

討論 賛成・反対それぞれ1人

採決結果 賛成多数で原案のとおり認定

# 常任委員会 視察報告

市議会では、各委員会がその所管事項について、より深く調査研究し、本市の施策や市政運営に寄与することを目的に、全国の先進都市を訪問し調査研究する視察研修を行っています。

今号では、10月に実施された4常任委員会の視察状況について報告いたします。

## 総務常任委員会

今回の視察調査は、定住自立圏構想を調査事項として実施いたしました。

下関市は、旧下関市と旧豊浦郡4町の新設合併により誕生した新市の圏域においての定住自立圏の形成を目指しており、JR下関駅を中心とした集客施設等の整備、交通機能の一層の強化に取り組む「下関駅にぎわいプロジェクト」、有害獣の肉を地域の特産品に変えるという逆転の発想による「有害獣肉有効活用推進事業」について説明を受けました。

八女市は、平成22年2月に周辺の黒木町、立花町、矢部村、星野村の編入合併

を予定しており、合併後の圏域において定住自立圏の

形成を目指していくのと同時に、新公共交通システムを構築する「交通インフラの整備」、地域間の情報伝達不均衡の解消に向け、インフラ整備を行う「ICTインフラの整備と利活用の推進」について説明を受けました。

久留米市は、「久留米広域市町村圏事務組合」を通じて、従来から周辺市町村との広域的な連携に取り組んでおり、今回の定住自立圏の圏域も、この事務組合の構成市町村を基本としているとのことであり、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」などについて説明を受けま



した。

それぞれの自治体が、それぞれの圏域の歴史的、地理的な背景を踏まえ、知恵を絞りながら、特色ある定住自立圏の形成を目指しており、本市にとっても参考になることが多い有意義な視察研修でありました。

## 市民文教常任委員会

金沢市では、「歴史まちづくり法」により彦根市と同様に国の認定を受けた取組として、歴史文化遺産群や重要伝統的建造物・古い町並み、三寺院群等は保存する一方、都市軸は開発を進める「保存と開発の調和」

を基本にした地域指定、条例制定、助成策の取組を学びました。また、駐車場として利用していた水路の開渠に当たり、住民を粘り強く説得し協力を得る行政の対応は印象深いものでした。さらに、職人大学校を造り、文化財の修復・復元に携わる人材育成や旧町名復活には、地元主導で市民と行政が一体となって取り組んだ結果、11の町名が復活され、まちづくりのあり方として感銘を受けました。

小諸市では、学校給食に地産地消を取り入れて21年の歴史と事業効果を学びました。安全性を最優先に教育委員会が中心となり、生産者・学校栄養士等が協議し、自校方式で地場産野菜47品目を給食に使い、今や



80%を占めています。生産者を給食試食会に招き、講師に来てもらう、子ども達は収穫や草取りの農業体験をするなど農業者との交流を深めることで感謝の気持ちや農業への興味が生まれるなど、旬の味覚以上の事業効果を認めておられることも印象に残りました。

松本市では、19の施設を核に自然環境や文化、産業の遺産を結びつけ、まちじゅうが屋根のない博物館として市民の学習や地域の振興に寄与する松本まるごと博物館構想のまちづくりを学びました。この構想は、人生80年時代にふさわしい施策で、一考に値すると感じました。

福祉病院常任委員会

富山市では、認知症高齢者の徘徊SOS緊急ダイヤルについて研修しました。高齢化率は24%で、高齢者の二人暮らしやいわゆる認知介護は35世帯もありました。このような状況の下、認知症による徘徊高齢者の早期発見と心身の安全を守るために、「富山市認知症高齢者徘徊SOS緊急ダイヤル」が設置、運用されています。このダイヤルは、認知症高齢者の徘徊に気づいたときに連絡すると、24時間、365日、看護師や介護福祉等の専門スタッフが連絡を受け、協力団体へ情報を発信し、情報を受けた協力団体が発見に協力するといったものです。

藤沢市では、自分の介護体験等をきっかけに環境や高齢者問題に取り組み、地域でお互いに助け合って暮らす仕組みを作りたいと勉強会を始めたNPO法人の理事長から、高齢者だけでなく、子ども、障がい者まで一つ屋根の下で住めるマンションを造る夢を実現す



るまでの奮戦記を聞くとともに、その施設を見学しました。

稲城市では、高齢者による介護支援ボランティア活動実績により、年間5千円が交付される制度について研修しました。また、病院の患者やその家族からの意見、要望、不満などを病院の職員でない第三者が患者の権利や利益を擁護する立場で早期解決に向けて適切な対応を図る市立病院アドボカシー制度について研修しました。

いずれの取組も大いに参考となりました。

産業建設常任委員会

三原市では、高齢者を含む交通弱者にきめ細かな交通手段を提供し、外出支援等の住民サービスの向上等を目的として平成15年度からデマンド交通を事業化されています。これは、地域内を3つのエリアに分け、自宅から目的地まで行くことができ、運賃は1回(片道)300円で運行されていることが特徴です。利用者も年間1万人以上あり、おおむね安価で便利であるとの声が多く、本市で試行中のデマンド交通を考える上でも参考になりました。

武雄市では、テレビドラマ

「のメインロケ地誘致等による観光振興、レモンケラス等の農産物のブランド化など、市長自らの発案、トップセールスによる新しい施策が次々と展開されており、市長が先頭に立ち、現場を鼓舞し、職員も任務を自覚し、市民等も巻き込んだ取組となっております。



知名度・集客力の向上、地域活性化等に大きな成果を挙げられている点、次の新たな施策も積極的に推進しようとしていっている点など勉強になりました。

太宰府市では、古代から受け継がれてきた歴史を踏まえ、九州国立博物館を核として、市内に点在する豊富な文化・歴史・観光資源をネットワーク化し、市民と行政が一体となって「太宰府市まるごと博物館」というまちづくりを推進し、文化の薫りや歴史の息づかいを感じることをできる魅力あるまちを目指されています。観光客誘致に向けた海外へのPR、修学旅行誘致に向けたPR等も含め、参考になりました。

総務常任委員会 10月5日～7日

- 山口県下関市  
定住自立圏構想について
- 福岡県八女市  
定住自立圏構想について
- 福岡県久留米市  
定住自立圏構想について

市民文教常任委員会 10月7日～9日

- 石川県金沢市  
歴史まちづくりについて
- 長野県小諸市  
学校給食による地産地消の取組について
- 長野県松本市  
松本まるごと博物館プロジェクトについて

福祉病院常任委員会 10月14日～16日

- 富山県富山市  
認知症高齢者の徘徊SOS緊急ダイヤルについて
- 神奈川県藤沢市  
市民出資の福祉マンション
- 東京都稲城市  
介護支援ボランティア制度について  
市立病院アドボカシー制度について

産業建設常任委員会 10月20日～22日

- 広島県三原市  
デマンド交通運行事業について
- 佐賀県武雄市  
観光行政について  
農産物のブランド化について
- 福岡県太宰府市  
観光行政について

議場コンサートを開催しました

市議会では、会派を超えた議員有志による議会開放推進プロジェクトチームを組織し、市民に開かれた議会づくりを進めています。

その取組の一環として、12月定例会開会日の12月7日(月)に第5回議場



コンサートを開催しました。

今回は、混声合唱「(アイ)の皆さんをお招きし、「彦根市民の歌」、「混声合唱のためのホームソング・メドレー(ローレライ、野ばら、ウィーンわが夢の街)」、「アヴェ マリア」、「君をのせて」など約30分間にわたり、心のこもった合唱をしていただきました。議場には、多くの方々にお越しいただき、一緒になって「彦根市民の歌」を歌っていただくなど、心から癒され、楽しいひとときを過ごしていただきました。

平成22年2月6日(土)午前8時50分から、子ども議会を議場で開催します。ぜひご来場ください。

第6回 議場コンサート(予定)

- 日時 平成22年3月1日(月) 13時から
- 場所 彦根市議会議場 (市役所5階)
- 出演 日本よし笛の会・母恵夢(ぼえむ)
- 内容 よし笛による演奏
- 曲目 調整中
- その他 詳細は広報ひこねやホームページでお知らせ予定

次の定例会は 3月です

12月定例会は延べ6人が傍聴



本会議の日程(予定)

開会	3月1日(月)
代表質問	3月8日(月)
個人質問	3月9日(火)
閉会	3月10日(水)
いずれも9時から開催予定	3月23日(火)

委員会の日程(予定)

予算	3月11日(木)
福祉病院	3月12日(金)
産業建設	3月15日(月)
総務	3月16日(火)
市民文教	3月17日(水)
	3月18日(木)

印の委員会は14時から、それ以外は9時から開催予定

彦根市の元日は、肌寒い北風が吹き抜け、雪が舞うなかでの初詣をされた皆様も多かったと思いますが、心配された寒波の襲来もなく、まずまずの3が日でした。人気キャラクター「ひこにゃん」へ届いた全国からの年賀状は、1月4日までに4500通を超え、昨年の3.5倍を記録。「ひこにゃん」人気は今年も健在なり。さて、12月定例会では、東中学校校舎等整備事業、高宮小学校校舎増築事業、小・中学校各所整備改修事業(太陽光発電整備)等の彦根市一般会計補正予算が可決され、各学校施設

設の充実が図られることになりました。

多くの市民の皆様や各種団体等のご尽力で盛り上がった「井伊直弼と開国150年祭」も本年3月でフィナーレを迎えますが、新たな彦根市の魅力を全国に発信できる観光行政に市議会としても積極的に取り組んでまいります。

編集後記

ひこね市議会だよりは再生紙を利用しています。